



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月30日

上場会社名 リオン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6823 URL <https://www.rion.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 岩橋清勝  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役経営企画本部長（氏名） 加藤公規（TEL）042-359-7099  
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	13,040	7.8	1,761	4.0	1,802	2.6	1,197	△4.8
2024年3月期中間期	12,101	12.1	1,694	61.1	1,757	63.0	1,258	107.8

（注）包括利益 2025年3月期中間期 1,256百万円（△1.2%） 2024年3月期中間期 1,271百万円（128.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	97.27	—
2024年3月期中間期	102.25	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	38,188	30,099	78.8
2024年3月期	37,140	29,211	78.7

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 30,099百万円 2024年3月期 29,211百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	23.00	—	32.00	55.00
2025年3月期	—	28.00			
2025年3月期（予想）			—	27.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,900	4.6	3,700	6.5	3,700	3.8	2,700	1.8	219.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	12,336,700株	2024年3月期	12,327,900株
2025年3月期中間期	17,382株	2024年3月期	17,382株
2025年3月期中間期	12,313,451株	2024年3月期中間期	12,304,672株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、欧米との金利差による円安傾向の継続や不安定な国際情勢に起因する資源・エネルギー価格の高騰に加えて、中国経済の減速など先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループの業績につきましては、医療機器事業の販売が減収となったものの、微粒子計測器事業の販売が好調であったことから、売上高、営業利益、経常利益は過去最高を更新しました。

なお、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、特別損失に計上した国分寺本社敷地内にある厚生棟の建て替えに伴う費用が前年同期と比較して増加したことから、一時的に減益となっております。

#### (微粒子計測器事業)

半導体関連市場において、地政学リスクに対応した世界各地での半導体製造工場の新設や増強が進められていることなどにより、それらの工場で使用される微粒子計の旺盛な需要が継続していることから、液中微粒子計の販売が好調に推移しました。加えて、高い製品需要に対応するために進めている設備等の増強により生産効率をより一層向上させることができたため、前年同期と比べて増収増益となりました。

#### (医療機器事業)

補聴器では、新製品リオネット2シリーズを中心に拡販に努めましたが、継続する物価高騰による個人消費の落ち込みにより、コロナ禍からの社会活動の回復によって来店者数が好調に推移していた前年同期と比べて減収となりました。医用検査機器では、耳鼻咽喉科をはじめとした医療機関の機器更新が前期から好調に推移しているものの、オージオメータや大型聴力検査室の受注が集中した前年同期の売上高には及びませんでした。これらの結果、医療機器事業全体では減収となり、加えて、補聴器の新製品発売に伴い、販売促進費等が一時的に増加したことから減益幅が拡大いたしました。

#### (環境機器事業)

国内市場においては騒音計及び振動レベル計の新製品を発売したことによって機器更新が増加したことや騒音ばく露計を新たに発売したことから販売が堅調に推移しました。一方で、海外市場において、システム製品の販売が増加したものの、欧州及び中国の景気減速により販売が低調に推移したため、全体として売上高は前年同期と同水準となりました。利益面につきましては、新製品の開発費用等が増加したことにより営業損失となりました。

当中間連結会計期間の業績を前中間連結会計期間と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	増減	増減率 (%)
売上高	12,101	13,040	938	7.8
微粒子計測器事業	3,431	4,599	1,168	34.0
医療機器事業	6,310	5,999	△310	△4.9
環境機器事業	2,360	2,441	80	3.4
営業利益又は 営業損失(△)	1,694	1,761	66	4.0
微粒子計測器事業	900	1,499	598	66.5
医療機器事業	762	401	△361	△47.4
環境機器事業	31	△139	△170	—
経常利益	1,757	1,802	45	2.6
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,258	1,197	△60	△4.8

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

微粒子計測器につきましては、設備等を増強し生産力を向上させることにより、半導体関連市場を中心とした高い製品需要に応えていくほか、半導体の微細化に伴う最先端機種へのニーズに対応していくことにより、前期から大幅な増収を見込んでおります。

補聴器につきましては、医療機関との連携をさらに強化して難聴の方に対する当社製品の周知を図ることに加えて、新製品のさらなる拡販を推進していくことで年度末に向けて売上高の回復を見込んでおります。医用検査機器につきましては、新規開業案件の獲得及び耳鼻咽喉科を中心とした医療機関の設備投資需要を販売へつなげていくことでほぼ前期並みの業績を見込んでおります。

環境機器につきましては、新製品を市場に投入し拡販に努めるほか、官公庁を中心とした予算案件の獲得及びアジアや欧州等の海外市場における販売を強化していくことにより、前年を上回る売上高を見込んでおります。

通期の連結業績予想につきましては、補聴器並びに環境機器の業績が当初の予想に届かないものの、微粒子計測器が予想を超える業績を見込んでいることから全体では期初の予想数値を変更しておりません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,025,613	5,815,190
受取手形及び売掛金	5,471,688	4,998,047
電子記録債権	2,205,696	1,834,754
棚卸資産	7,207,548	8,159,251
その他	907,028	742,695
貸倒引当金	△8,456	△8,282
流動資産合計	20,809,119	21,541,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,919,583	3,809,666
土地	5,967,194	5,967,194
その他(純額)	1,599,849	1,990,159
有形固定資産合計	11,486,627	11,767,019
無形固定資産		
のれん	794,187	823,758
その他	1,669,164	1,583,906
無形固定資産合計	2,463,352	2,407,664
投資その他の資産		
その他	2,384,729	2,474,333
貸倒引当金	△2,989	△2,200
投資その他の資産合計	2,381,739	2,472,133
固定資産合計	16,331,719	16,646,817
資産合計	37,140,839	38,188,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,518,711	2,808,421
未払法人税等	398,273	538,360
未払費用	415,479	403,835
賞与引当金	1,201,372	1,083,754
製品保証引当金	218,022	223,864
その他	626,627	504,087
流動負債合計	5,378,486	5,562,324
固定負債		
退職給付に係る負債	803,869	810,646
その他	1,747,115	1,716,195
固定負債合計	2,550,985	2,526,842
負債合計	7,929,471	8,089,166

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,052,306	2,064,899
資本剰余金	2,475,805	2,488,397
利益剰余金	20,400,637	21,204,437
自己株式	△10,728	△10,728
株主資本合計	24,918,021	25,747,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	529,092	464,946
土地再評価差額金	3,277,067	3,277,067
為替換算調整勘定	△44,995	98,404
退職給付に係る調整累計額	532,182	511,883
その他の包括利益累計額合計	4,293,346	4,352,302
純資産合計	29,211,367	30,099,308
負債純資産合計	37,140,839	38,188,475

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	12,101,823	13,040,586
売上原価	5,756,039	6,300,262
売上総利益	6,345,783	6,740,324
販売費及び一般管理費	4,651,096	4,978,693
営業利益	1,694,687	1,761,630
営業外収益		
受取利息	3,019	4,407
受取配当金	29,197	24,846
為替差益	14,301	—
受取家賃	26,487	20,757
その他	14,867	19,117
営業外収益合計	87,875	69,129
営業外費用		
支払利息	1,001	1,077
為替差損	—	3,362
支払手数料	18,906	21,139
その他	5,514	2,548
営業外費用合計	25,421	28,128
経常利益	1,757,141	1,802,631
特別損失		
固定資産除却損	6,921	5,351
建物解体費用	—	102,200
埋蔵文化財発掘調査費	19,578	10,100
特別損失合計	26,499	117,651
税金等調整前中間純利益	1,730,641	1,684,980
法人税、住民税及び事業税	487,335	481,565
法人税等調整額	△14,836	5,678
法人税等合計	472,499	487,243
中間純利益	1,258,142	1,197,736
親会社株主に帰属する中間純利益	1,258,142	1,197,736

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,258,142	1,197,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,669	△64,145
為替換算調整勘定	2,625	143,399
退職給付に係る調整額	△5,659	△20,298
その他の包括利益合計	13,635	58,955
中間包括利益	1,271,777	1,256,692
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,271,777	1,256,692
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,730,641	1,684,980
減価償却費	363,756	536,575
のれん償却額	31,294	34,766
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13,138	△1,543
賞与引当金の増減額(△は減少)	△83,042	△118,253
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5,630	5,551
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,911	△22,480
受取利息及び受取配当金	△32,217	△29,254
支払利息	1,001	1,077
為替差損益(△は益)	72,259	19,092
建物体費費用	—	102,200
埋蔵文化財発掘調査費	19,578	10,100
有形固定資産除売却損益(△は益)	6,921	5,351
売上債権の増減額(△は増加)	1,067,881	862,200
棚卸資産の増減額(△は増加)	△714,107	△932,829
仕入債務の増減額(△は減少)	△115,337	283,759
未払消費税等の増減額(△は減少)	115,932	△165,775
その他	△21,201	237,744
小計	2,444,956	2,513,264
利息及び配当金の受取額	31,572	28,655
利息の支払額	△1,001	△1,077
埋蔵文化財発掘調査費の支払額	—	△54,700
法人税等の支払額	△440,349	△337,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,035,178	2,149,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△915,373	△692,100
無形固定資産の取得による支出	△399,239	△117,487
関係会社株式の取得による支出	—	△150,495
その他	△10,255	△7,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,324,867	△968,082
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△269,244	△392,941
その他	△5,778	△5,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275,023	△398,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△78,507	6,584
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	356,779	789,576
現金及び現金同等物の期首残高	5,206,561	4,860,213
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,563,341	5,649,790

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	微粒子計測器 事業	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	3,431,376	6,310,059	2,360,387	12,101,823	—	12,101,823
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,431,376	6,310,059	2,360,387	12,101,823	—	12,101,823
セグメント利益	900,773	762,602	31,311	1,694,687	—	1,694,687

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	微粒子計測器 事業	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	4,599,480	5,999,884	2,441,221	13,040,586	—	13,040,586
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,599,480	5,999,884	2,441,221	13,040,586	—	13,040,586
セグメント利益又は 損失(△)	1,499,432	401,235	△139,037	1,761,630	—	1,761,630

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

製品及びサービスごとの情報

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	微粒子計測器事業	医療機器事業		環境機器事業	合計
	微粒子計測器	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	
外部顧客への売上高	3,431,376	5,133,497	1,176,561	2,360,387	12,101,823

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	微粒子計測器事業	医療機器事業		環境機器事業	合計
	微粒子計測器	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	
外部顧客への売上高	4,599,480	4,899,930	1,099,953	2,441,221	13,040,586